

次期戦略策定に向けて 検討の流れと進め方

聖龍町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議



国

人口減少は加速度的に進み、経済社会に大きな重荷。
・国民の希望を実現し、人口減少に歯止めを。
・人口減少克服と地方創生を併せて行い活力ある社会を。

2014年(H26)11月まちひとしごと創生法制定
2014年(H26)12月長期ビジョン・総合戦略策定

長期ビジョン
:2060年に1億人程度の人口を維持する中長期展望を提示

総合戦略:第1期の施策を策定

4つの基本目標

- 1.地方における安定した雇用を創出する
- 2.地方への新しい人の流れをつくる
- 3.若い世代の結婚出産子育ての希望をかなえる
- 4.時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。

【地方創生版3本の矢】 情報支援・人材支援・財政支援



町

2016年(H28)3月人口ビジョン・総合戦略策定
(法9.10 地方自治体は策定に努める)

人口ビジョン
:2060年の目標人口を13,700人(出生率2.14流入率80%)

総合戦略:第1期の施策を策定

①しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成

- 施策1 農産物の販路拡大ブランドづくり
- 施策2 地域資源を活かした広域連携による観光振興
- 施策3 新潟東港を核とした経済振興

②～結婚出産子育ての希望をかなえる

- 施策1 結婚の希望をかなえる
- 施策2 安心できる子育てできる家族への対応
- 施策3 子育てしながら働きつづける環境整備

③まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる

- 施策1 地域コミュニティの振興・人材育成
- 施策2 民間活力を活用した市街化の形成
- 施策3 生涯活躍のまち構想の実現に向けた取り組み
- 施策4 定住自立圏構想等による連携の推進
- 施策5 防犯防災対策の推進

中身については概要版または本文をご覧ください

次期戦略策定に向けた検討の流れ

現行戦略の効果検証

次期戦略の検討

1回目会議10/11

2回目会議11/5

基本目標1
しごとづくり
地域資源を活かした魅力
ある産業を形成

基本目標2
結婚出産子育ての希望を
かなえる。

基本目標3
まちづくり
住み続けたいまちのかたち
づくる

課題を
抽出
↓
総括

次期
戦略
で何を
するべ
きか

次期戦略
基本的方向

4回目会議1月中旬

5回目会議2月上旬

次期戦略
策定

3回目会議12月下旬

推進会議 1・2回 現行戦略の検証効果について（基本目標 1～3）

1・2回の会議では現戦略の各施策について現状の把握と効果検証。

委員の皆様から、現戦略での施策について次期戦略における位置づけや各専門分野における事業との連携の可能性や関連事業の情報提供などご意見をいただきたい。

資料の見方

評価 2を基準として5段階評価＝黄色線

1:【2014年時点から後退している】

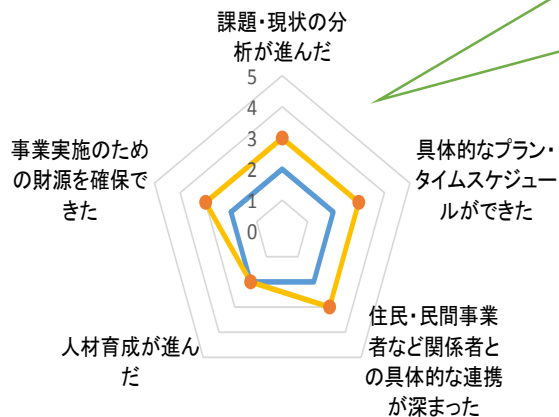
2:【2014年時点から概ね変わらない(青線)】

3:【2014年時点から進展している】【プランタイムスケジュールができています】

4:【2014年時点から進展しており期待した成果を上げている】【プランタイムスケジュールどおりに進んでいる】

5:【2014年時点から進展しており期待以上の成果を上げている】【プランタイムスケジュールが前倒して進んでいる】

【例】ふるさと納税



ふるさと納税制度を活用し、農産物のPRと販路ができた。

- ・ 2016年度からふるさと納税返礼品制度を開始。
- ・ 2019年9月現在で、返礼品（農産物）は34品

	2016	2017	2018
寄附件数※	499件	2,284件	1,800件
農産物購入額	1,210千円	8,383千円	8,558千円

【戦略と現状とのギャップ等】

- ・ 町内の主要な農産物は、すでに返礼品に登録済み。一方、農産物以外の返礼品も追加してきていることで、寄附者への返礼品は分散してきている。
- ・ 町の税収確保のために、ふるさと納税自体は寄附額 1 億円を当面の目標として活用していくべき。

記載は事務局の現状・課題の捉え方。

委員の皆様からもご意見をいただきたい。
 →ここでの課題や意見を踏まえ次期戦略を検討していきます。